



pHK12 シリーズベクター使用上の注意事項

- ※ インサートの発現ベクターへの挿入は 5'側に *Bgl*III 制限酵素認識配列、3'側に *Spe*I 制限酵素認識配列を用いて行うこと。
- ※ 発現ベクター側には、start Met, stop codon が存在しないので、インサート側に挿入すること。但し、N 末、C 末側にタグが付いている場合は、それぞれ start Met, stop codon がベクターに既に含まれている。
- ※ プロモーター直下にインサートをつなぐ場合は *Bgl*III 制限酵素認識配列と start Met の間に Kozak 配列 (aaaaaa) を挿入すること。

※ N 末にタグタンパク質遺伝子を融合する場合には、*Bgl*III サイトの直後が挿入遺伝子の最初のアミノ酸のコードンとなるように挿入すること。また、C 末にタグタンパク質遺伝子を融合する場合には、stop codon を抜いたインサートを挿入し *Spe*I サイトの直前が挿入遺伝子の最後のアミノ酸コードンになること。下図参照

N 末にタグを付ける場合のフレーム



C 末にタグをつける場合のフレーム

